



NEWS RELEASE

2024.10.31

コカ・コーラ ボトラーズジャパンと関西から九州への共同幹線輸送を開始 重軽混載輸送により、物流の効率化を推進

株式会社湖池屋（社長：佐藤章）はコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（社長：カリン・ドラガン）と、関西から九州に向けた製品輸送において、共同幹線輸送※1を2024年10月より開始しました。

※1 幹線輸送：大量の荷物を集めた集荷拠点から、他のエリアの配達拠点まで大型トラックなどで輸送をすること



写真左：飲料製品のみを積載したトラック
写真右：下段に飲料製品、上段に菓子製品を混載したトラック

本取り組みは、軽量貨物である菓子製品と重量貨物である飲料を混載し、トラックの荷台に生じた空きスペースを有効活用することで、積載率を向上させ、両社の物流効率を推進するものです。当社の物流パートナー社が、コカ・コーラ ボトラーズジャパンの倉庫で飲料製品を積載した後、近接する湖池屋の委託先の倉庫に立ち寄り、荷台の空きスペースに菓子製品を積載し、関西から九州に向けて混載輸送を行います。

湖池屋は、販売量の増加に伴う商品の安定的な供給と物流の輸送量軽減を目的に2021年7月に熊本県に九州阿蘇工場を開設し、地産地消とトラック輸送の削減に効果をあげておりました。しかしながら、生産拠点の限られる一部商品においては長距離輸送が発生しており、「物流の2024年問題」という背景もあって、長距離輸送においては、トラックの確保に課題がありました。

このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社湖池屋 広報部

Tel. 080-3582-2708

E-mail. pr@koike-ya.com



一方、コカ・コーラ ボトラーズジャパンは、製造数量がもともと少ない製品などにおいては、需要により長距離輸送が発生することがあり、トラックの確保に課題がありました。また、飲料製品は重量貨物であるため、容積に対し荷台上部には空きスペースが生じることも課題となっていました。

こうした現状から、共同輸送を行うことにより、容積・重量とも積載率を100%に近づけることを可能にし、各社が関西から九州に輸送手配を行う場合と比べ、トラックの使用台数は33%の削減につながる見込みです。※2

※2 両社による8月～9月のテスト展開の結果算出された数字

今後も両社は限られた車両の有効活用を通じ、物流の効率化を図ることで、社会課題である「物流2024年問題」解決に貢献するとともに、持続可能な製品の安定供給を目指してまいります。

■運用開始時期

2024年10月（2024年8月～9月までテストを実施）

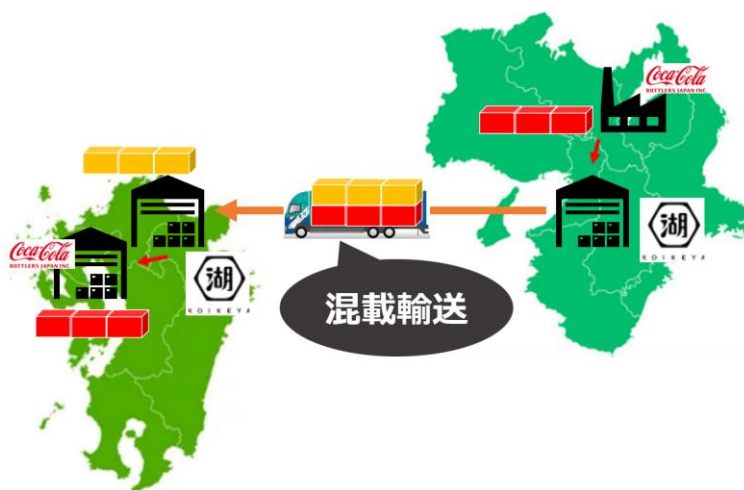
■実施エリア

関西から九州に向けた輸送

■本件のスキーム

(1) コカ・コーラ ボトラーズジャパンの京都府エリアの倉庫で製品を積載した後、湖池屋が委託する京都府・大阪府エリアの倉庫に一時立ち寄り、コカ・コーラ社製品を積んだ空きスペースに湖池屋製品を積載。

(2) 両社の製品を混載した状態で輸送し、湖池屋の福岡県エリアの倉庫、コカ・コーラ ボトラーズジャパンの佐賀県エリアの倉庫へ納品。



このリリースに関するお問い合わせ先
株式会社湖池屋 広報部:伊藤/小幡
Tel. 080-3582-2708 Fax. 03-6872-2613
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-17-11
JPR 原宿ビル 8F E-mail. pr@koike-ya.com

一般のお客さまからのお問い合わせ先
株式会社湖池屋 お客様センター
Tel.0120-941-751
受付:月～金 9:00～17:00 (祝日除く)